

栃木県立宇都宮中央高等学校設置計画概要

R3.4.6

区 分	内 容	等
1 新校の基本的 枠組み	<p>(1) 第二期県立高等学校再編計画 令和4年度に男女共学化するとともに、進学に重点を置く単位制を導入し、進学校の役割を担える高校として整備する。</p> <p>(2) 新校名及び命名の趣旨 「栃木県立宇都宮中央高等学校」 伝統ある「中央」の名称への地域や卒業生の愛着や期待を引き継ぐとともに、時代を支える中心的な人物を輩出するという期待を込める。</p> <p>(3) 設置及び開校年月日 令和4（2022）年1月1日設置、4月1日開校</p> <p>(4) 設置学科等 普通科・単位制（1学年6学級240名）、総合家庭科・単位制（1学年1学級40名）を設置</p>	
2 教育目標等	<p>(1) 教育目標 社会の発展に貢献する情操豊かな人間の育成</p> <p>(2) 目指す学校像 ○ 次代を牽引するリーダーにふさわしい品格と深い教養を身に付け、理性的に物事を判断し行動する生徒を育てる学校 ○ 向上心と粘り強さを持ち、心身を鍛え、自らを高め続ける生徒を育てる学校 ○ 多様化・複雑化する社会の課題に向き合い、主体性を持って他者と協働し、未来を創造する生徒を育てる学校</p> <p>(3) 生徒指標 高潔 情熱 進取</p>	
3 教育課程編成の 基本方針	<p>○ 教育目標の具現化を目指した教育課程を編成する。</p> <p>○ 生徒の興味・関心や進路希望等に応じた多様な教科・科目の開設や、学習習熟度別少人数授業等を実施し、個に応じた指導の充実を図る。</p> <p>○ 学問への探究心を高められる発展的な学習内容の科目や難関大学への受験にも対応できる科目を開設する。</p>	
4 特色ある 教育活動	<p>(1) 進学に重点を置く単位制の利点を生かした教育課程の編成と個に応じた指導体制の確立 ○ 生徒の興味・関心や難関大学をはじめ希望する大学への受験に対応できる多様な選択科目の開設 ○ 学問への探究心を喚起する発展的な内容を学べる学校設定科目の開設 ○ 学習習熟度別授業や少人数授業等のきめ細かな学習指導の展開</p> <p>(2) グローバル社会における課題解決への実践的な行動力を育む教育の推進 ○ 自文化・異文化の理解を深める地域連携活動と国際交流活動 ○ 課題解決に向けた論理的思考力や判断力、表現力を高める探究活動 ○ ICTを活用した主体的で発展的な学びの推進</p> <p>(3) 豊かな人間性と社会性を育む特別活動等の充実 ○ リーダーシップ・フォロワーシップを育む生徒主体の学校行事や生徒会活動 ○ 個々の力を十分に発揮できる充実した部活動等 ○ 社会貢献力を高める地域貢献活動及びボランティア活動等</p>	
5 校歌、校章、 制服	校歌（作詞：佐々木幹郎氏、作曲：西村朗氏 設置計画参照）、校章（宇都宮中央女子高校の校章を引き続き使用）、制服（設置計画参照）	
6 施設・設備	<p>(1) 西棟（改修・整備）：進学に重点を置く単位制の導入に伴い、少人数授業に対応できる講義室を4室と各種講演会や集団討論・プレゼンテーションなどに活用できる大講義室を整備する。</p> <p>(2) 体育館（新築）：共学化に伴い、授業や部活動等の充実のため、第二体育館を新築する。</p> <p>(3) 部室棟（新築）：共学化に伴い、男子運動部活動を設置するため部室棟を新築する。</p> <p>(4) グラウンド（改修・整備）：現行のグラウンドの段差を解消し、野球場・サッカー場・陸上トラック等を整備する。</p> <p>(5) 弓道場（新築・移転）：グラウンドの整備に伴い、弓道場を講堂兼体育館南側に新築する。</p> <p>(6) トイレおよび更衣室（改修）：共学化に伴い、既存施設のトイレ及びプールの更衣室等を改修する。</p>	

栃木県立足利高等学校設置計画概要

R 3.4.6

区 分	等
1 新校の基本的 枠組み	<p>(1) 第二期県立高等学校再編計画 令和4(2022)年度に足利高校と足利女子高校を統合し、共学化する。併せて、進学に重点を置く単位制を導入する。</p> <p>(2) 新校名及び命名の趣旨 「栃木県立足利高等学校」 足利高・足利女子高両校の伝統と史跡足利学校の向学の精神を受け継ぎ、地域・足利を代表する高校を表す。</p> <p>(3) 設置及び開校年月日 令和4(2022)年1月1日設置、4月1日開校</p> <p>(4) 設置学科等 普通科・単位制(1学年6学級240名)を設置</p>
2 教育目標等	<p>(1) 教育理念(校訓) 進取 忠恕 自学</p> <p>(2) 教育目標 高い志と知的好奇心を持ち、豊かな感性と良識を身につけ、次代を逞しく拓いていくことのできる有為な人材を育成する。</p> <p>(3) 育てる生徒像 ①確かな学力と広い視野を身につけた生徒 ②主体的に課題を見いだし解決しようとする意欲と協働性を身につけた生徒 ③郷土愛にあふれ、グローバルリーダーとしての国際感覚を身につけた生徒 ④自他を敬愛し、社会に貢献しようとする姿勢を身につけた生徒 ⑤新たな価値をつくりだし次代を切り拓く強い意志と創造性を身につけた生徒</p>
3 教育課程編成の 基本方針	<p>生徒の興味・関心や進路希望に応じた多様な教科・科目の開設など、単位制の利点を生かした教育課程を編成する。</p> <p>①難関大学を始め希望する大学への進路実現に向けた応用力や実践力向上のための科目を開設する。</p> <p>②学問の興味・関心や探究心を高める発展的な学習内容の科目を開設する。</p> <p>③個に応じたきめ細かな指導の充実に向け、学習習熟度別授業や少人数授業を実施する。</p>
4 特色ある 教育活動	<p>(1) 進学に重点を置く普通科単位制の利点を生かした教育課程の編成ときめ細かな進路指導の推進 ①興味関心や希望進路に応じた発展的学習を扱う選択科目の開設 ②個に応じた手厚い指導を可能とする学習習熟度別授業や少人数授業の実施 ③個別最適化された学びを推進するためのICT機器の活用 ④生徒一人一人の自己実現を支援する全校体制による進路指導</p> <p>(2) 「足利から世界へ」をテーマに自分と社会をつなぐ探究活動の推進 ①SDGsの視点から地域および世界の課題とその解決策を探究する活動の実施 ②SSHの手法を継承し、科学的探究力を育むプログラムの実施 ③地域の自然、歴史、文化、産業に直に触れ、学びを深める活動の実施 ④第一線で活躍している専門家や先進企業、研究施設等との連携</p> <p>(3) 主体的に社会に参画する態度を育む特別活動の充実 ①リベラルな学校文化の醸成に向けた生徒主体による学校行事等の企画・運営 ②学年の枠を越えた各種活動・行事の実施による異年齢交流の推進 ③地域の文化・スポーツ交流活動やボランティア活動等への積極的参加 ④国際的視野を育み、異文化理解を深める海外研修や海外交流等の実施</p>
5 校歌、校章、 制服	<p>校歌(作詞: 売野雅勇氏、作曲: 林哲司氏 設置計画参照)</p> <p>校章(制作: 有坂隆二氏)</p> <p>制服(現在、検討中)</p>
6 校地・校舎	<p>統合当初は足利高校の校地を使用し、足利女子高校の校地及び足利市民会館の敷地に新校舎を整備した後移転する。新校舎移転後も、足利高校のグラウンド等は部活動等で使用する。</p>
7 施設・設備	<p>(1) HR教室 : 新JIS規格(平成11(1999)年改正)の机のサイズを考慮し、従来より広い面積を有するHR教室(普通教室)を整備する。</p> <p>(2) 講義室 : 単位制による学習習熟度別少人数授業や多様な選択科目の授業に柔軟に対応できる複数の講義室(30人程度を収容できる普通教室)を整備する。</p> <p>(3) 大教室 : 生徒の学習成果の発表・討論の場や、科目履修ガイダンスなど学年全員に対する一斉指導の場として、移動可能な机椅子や視聴覚機器等を備えた、1学年全員(240人)が収容可能な面積を有する大教室を整備する。</p> <p>(4) 自習室 : 生徒一人一人が主体的に活動できる自学自習の場として、自習室を整備する。</p> <p>(5) 図書室 : 新学習指導要領が重視する探究的な学びや、生徒の自主的な学習の場として、十分な面積と機能を有する図書室を整備する。</p> <p>(6) 進路関係諸室 : 進路相談やガイダンス指導の場、進路関係資料の保管・閲覧の場として、十分な面積と機能を有する進路指導・相談室、進路資料室を整備する。</p> <p>(7) 体育館 : 一般的な県立高校の第一体育館及び第二体育館を一体化し、バスケットボールコート4面を配置できる面積を有するアリーナを備えた体育館を整備する。</p>



栃木県立宇都宮中央高等学校設置計画

令和3（2021）年3月

宇都宮中央女子高新校設立準備委員会

目 次

1	宇都宮中央高校の基本的枠組み p. 2
2	教育目標、目指す学校像、生徒指標 p. 3
3	教育課程 p. 3
4	特色ある教育活動 p. 4
5	校歌、校章、制服 p. 5. 6
6	施設・設備 p. 7

- 資料 1 宇都宮中央女子高新校設立準備委員会設置要綱
- 資料 2 宇都宮中央女子高新校設立準備委員会委員名簿
- 資料 3 宇都宮中央女子高新校設立準備実務作業部会部会員名簿
- 資料 4 宇都宮中央女子高新校設立準備組織体系図
- 資料 5 宇都宮中央女子高新校設立準備委員会の審議経過
- 資料 6 宇都宮中央女子高新校設立準備実務作業部会の審議経過
- 資料 7 宇都宮中央高等学校令和 4 年度入学生教育課程表

1 宇都宮中央高校の基本的枠組み

(1) 第二期県立高等学校再編計画

令和4年度に男女共学化するとともに、進学に重点を置く単位制を導入し、進学校の役割を担える高校として整備する。

(2) 校名

【校名】 「栃木県立宇都宮中央高等学校」

【命名の趣旨】

新校は、宇都宮市のほぼ中央に位置しており、これまでも「宇都宮中央女子高」の名で親しまれてきた。これまで培ってきた「中央」の名称への愛着や卒業生・地域の方々からの期待を引き継ぐとともに、これからの時代を支える中心的な人材を輩出するという期待が込められている。

(3) 設置場所

栃木県宇都宮市若草2丁目2番46号

(4) 開校年月日

令和4年4月1日

(5) 設置学科・募集定員

普通科 6学級 (240名)

総合家庭科 1学級 (40名)

2 教育目標、目指す学校像、生徒指標

(1) 教育目標

社会の発展に貢献する情操豊かな人間の育成

(2) 目指す学校像

- 次代を牽引するリーダーにふさわしい品格と深い教養を身に付け、理性的に物事を判断し行動する生徒を育てる学校
- 向上心と粘り強さを持ち、心身を鍛え、自らを高め続ける生徒を育てる学校
- 多様化・複雑化する社会の課題に向き合い、主体性を持って他者と協働し、未来を創造する生徒を育てる学校

(3) 生徒指標

高潔 情熱 進取

3 教育課程

教育課程編成の基本方針

- 教育目標の具現化を目指した教育課程を編成する。
- 生徒の興味・関心や進路希望等に応じた多様な教科・科目の開設や、学習習熟度別少人数授業等を実施し、個に応じた指導の充実を図る。
- 学問への探究心を高められる発展的な学習内容の科目や難関大学への受験にも対応できる科目を開設する。

4 特色ある教育活動

(1) 進学に重点を置く単位制の利点を生かした教育課程の編成と個に応じた指導体制の確立

- 生徒の興味・関心や難関大学をはじめ希望する大学への受験に対応できる多様な選択科目の開設
- 学問への探究心を喚起する発展的な内容を学べる学校設定科目の開設
- 学習習熟度別授業や少人数授業等のきめ細かな学習指導の展開

(2) グローバル社会における課題解決への実践的な行動力を育む教育の推進

- 自文化・異文化の理解を深める地域連携活動と国際交流活動
- 課題解決に向けた論理的思考力や判断力、表現力を高める探究活動
- ICTを活用した主体的で発展的な学びの推進

(3) 豊かな人間性と社会性を育む特別活動等の充実

- リーダーシップ・フォロワーシップを育む生徒主体の学校行事や生徒会活動
- 個々の力を十分に発揮できる充実した部活動等
- 社会貢献力を高める地域貢献活動及びボランティア活動等

5 校歌、校章、制服

(1) 校歌

作詞者 佐々木 幹郎 氏 略歴

1947年奈良に生まれ大阪で育つ。詩人。ミシガン州立オー
クランド大学客員研究員、東京藝術大学大学院音楽研究科音
楽文芸非常勤講師を歴任。

作曲者 西村 朗 氏 略歴

1953年大阪生まれ。作曲家。東京音楽大学教授。草津国際
音楽祭音楽監督。いずみシンフォニエッタ大阪音楽監督。東
京藝術大学作曲科卒及び同大学院修了。

校 歌

虹色の夢

作詞 佐々木 幹郎
作曲 西村 朗

空の青さを追いかけて
青春が 薫り豊かに 融けるとき
ここ いま 一瞬
わたしたちが笑うとき
花が咲き 花が揺れる
風の緑を追いかけて
青春が 未来に向けて はじけるとき
ここ いま 一瞬
わたしたちが願うこと
情熱の炎 炎が揺れる
宇宙の広さを追いかけて
青春が きみとともに 走るとき
ここ いま 一瞬
わたしたちが祈るとき
虹色の夢 夢がふくらむ

(2) 校章

(現校章を継続)



白の七宝焼で「中央」の文字をアレンジし、真中にクロムメッキの縦線を入れ、赤で「高」の字を入れたもの。白は高潔、赤は情熱、クロムの銀は進取を象徴する。

(3) 制服

スーツ

リボン・スカート

ネクタイ・スカート



・「リボン／ネクタイ」と「スカート／スラックス」は
選択制を検討中

6 施設・設備

(1) 西棟（改修・整備）

進学に重点を置く単位制の導入に伴い、少人数授業に対応できる講義室を4室と各種講演会や集団討論・プレゼンテーションなどに活用できる大講義室を整備する。

(2) 体育館（新築）

共学化に伴い、授業や部活動等の充実のため、第二体育館を新築する。

(3) 部室棟（新築）

共学化に伴い、男子運動部活動を設置するため部室棟を新築する。

(4) グラウンド（改修・整備）

現行のグラウンドの段差を解消し、野球場・サッカー場・陸上トラック等を整備する。

(5) 弓道場（新築・移転）

グラウンドの整備に伴い、弓道場を講堂兼体育館南側に新築する。

(6) トイレおよび更衣室（改修）

共学化に伴い、既存施設のトイレ及びプールの更衣室等を改修する。

資料 1

宇都宮中央女子高新校設立準備委員会設置要綱

(趣 旨)

第1条 この要綱は、「県立高校再編推進要綱」(平成29年12月1日施行)第4条に基づき、宇都宮中央女子高校(以下「同校」という。)に設置する新校設立準備委員会(以下「準備委員会」という。)の運営等について、必要な事項を定めるものとする。

(組 織)

第2条 準備委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって組織する。

2 委員長は、同校の校長をもって充てる。

3 副委員長は、同校の教頭をもって充てる。

4 委員は、学識経験者、地元関係者、学校関係者及び県教育委員会事務局職員等の中から10名程度を選任し、委員長が委嘱する。

(所掌事項)

第3条 準備委員会は、次に掲げる業務を行う。

(1) 新校設置計画に関すること。

(2) 施設・設備の整備等に関すること。

(3) 新校の広報に関すること。

(4) その他新校への移行の円滑な推進に関すること。

(会 議)

第4条 委員長は、必要に応じて会議を招集し、これを主宰する。

2 委員長は、必要に応じて会議に関係者の出席を求め、意見を聴くことができる。

3 委員長は、委員会において協議又は決定した事項については、高校再編推進本部に報告するものとする。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(実務作業部会)

第5条 準備委員会に専門的事項を調査検討するため、実務作業部会(以下「作業部会」という。)を置く。

2 作業部会の部会員は、委員長が指名する者をもって充てる。

3 作業部会の会議は、委員長が召集し、これを主宰する。

4 作業部会は、調査検討すべき事項ごとに、検討小部会を置くことができる。

(設置期間)

第6条 準備委員会の設置期間は、準備委員会が設置された日から新校が開校する年の3月31日までとする。

(庶務)

第7条 準備委員会の庶務は、同校の職員において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、準備委員会に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成29年12月1日から施行する。

資料 2

宇都宮中央女子高新校設立準備委員会委員名簿

	役 職	氏 名	所 属
1	委 員 長	日向野 勝	宇都宮中央女子高等学校長 (平成31年4月～令和2年3月)
		稲葉 昌弘	宇都宮中央女子高等学校長 (令和2年4月～令和3年3月)
2	副委員長	荒井 博文	宇都宮中央女子高等学校教頭 (平成31年4月～令和2年3月)
		小島 浩二	宇都宮中央女子高等学校教頭 (令和2年4月～令和3年3月)
3	委 員	松金 公正	宇都宮大学国際学部教授
4	委 員	松本 良雄	栃木県中学校長会長(宇都宮市立旭中学校長) (平成31年4月～令和2年3月)
		初谷 憲一	栃木県中学校長会長(宇都宮市立一条中学校長) (令和2年4月～令和3年3月)
5	委 員	加藤 潔	あしぎん総合研究所 取締役社長 (平成31年4月～令和2年6月)
		小又 正高	あしぎん総合研究所 取締役社長 (令和2年7月～令和3年3月)
6	委 員	大谷 和大	細谷・上戸祭地域まちづくり協議会長
7	委 員	大塚 千枝子	宇都宮中央女子高等学校同窓会長
8	委 員	岡田 誠司	宇都宮中央女子高等学校PTA OB会代表
9	委 員	青柳 育夫	県教育委員会総務課高校再編推進担当主幹 (平成31年4月～令和2年3月)
		吉田 嘉宏	県教育委員会総務課高校再編推進担当主幹 (令和2年4月～令和3年3月)
10	委 員	山下 拓男	県教育委員会高校教育課指導担当課長補佐

資料 3

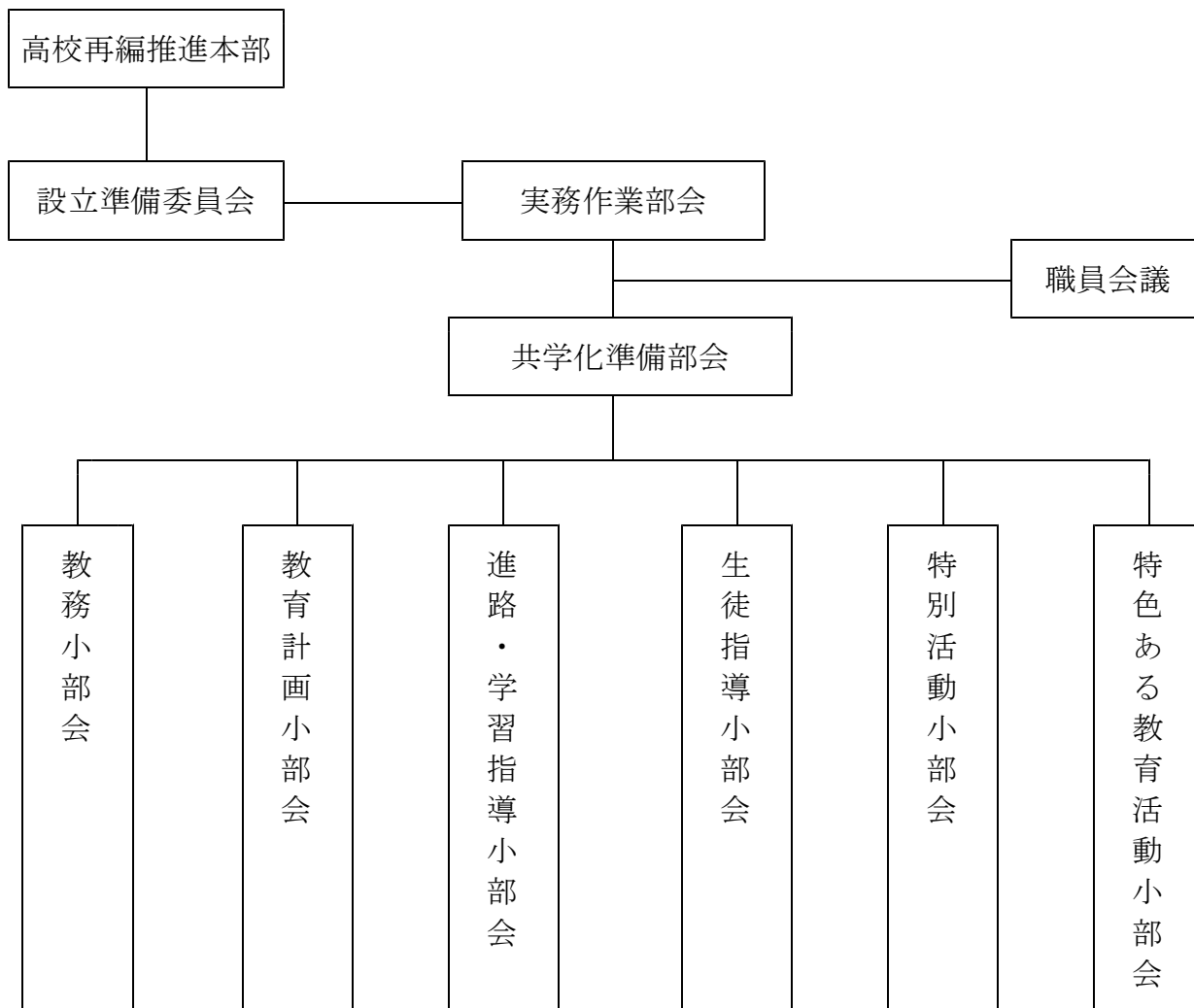
宇都宮中央女子高新校設立準備実務作業部会部会員名簿

	役職	氏名	所属
1	部会長	日向野 勝	宇都宮中央女子高等学校長 (平成31年4月～令和2年3月)
		稲葉 昌弘	宇都宮中央女子高等学校長 (令和2年4月～令和3年3月)
2	副部会長	荒井 博文	宇都宮中央女子高等学校教頭 (平成31年4月～令和2年3月)
		小島 浩二	宇都宮中央女子高等学校教頭 (令和2年4月～令和3年3月)
3	部会員	岸本 富雄	宇都宮中央女子高等学校教頭
4	部会員	町田 章倫	宇都宮中央女子高等学校事務長 (平成31年4月～令和2年3月)
		吉澤 充広	宇都宮中央女子高等学校事務長 (令和2年4月～令和3年3月)
5	部会員	小島 浩二	宇都宮中央女子高等学校主幹教諭 (平成31年4月～令和2年3月)
		宮澤 昭二	宇都宮中央女子高等学校主幹教諭 (令和2年4月～令和3年3月)
6	部会員	岩瀬 英二郎	宇都宮中央女子高等学校主幹教諭 (平成31年4月～令和2年3月)
		福田 裕子	宇都宮中央女子高等学校主幹教諭 (令和2年4月～令和3年3月)
7	部会員	江田 均	宇都宮中央女子高等学校教務主任 (平成31年4月～令和2年3月)
8	部会員	飯田 みゆき	宇都宮中央女子高等学校総合家庭科主任 (平成31年4月～令和2年3月)
		成瀬 隆代	宇都宮中央女子高等学校総合家庭科主任 (令和2年4月～令和3年3月)
9	部会員	福田 勉	宇都宮中央女子高等学校進路指導主事
10	部会員	下島 健一	宇都宮中央女子高等学校生徒指導主事
11	部会員	齋藤 信行	宇都宮中央女子高等学校特別活動部長
12	部会員	月井 剛	宇都宮中央女子高等学校教諭
13	部会員	高橋 伸輔	県教育委員会高校教育課指導担当副主幹
14	部会員	植竹 暁	県教育委員会総務課高校再編推進担当副主幹 (平成31年4月～令和2年3月)
15	部会員	鈴木 啓介	県教育委員会総務課高校再編推進担当指導主事
16	部会員	小瀧 学	県教育委員会総務課高校再編推進担当指導主事 (令和2年4月～令和3年3月)

資料 4

宇都宮中央女子高新校設立準備組織体系図

1 組織図



2 各担当の主な職務

(1) 共学化準備部会

検討事項	担当者
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設立準備委員会、作業部会の運営、準備 ・ 全体スケジュール管理、諸業務の総括 ・ 各小部会の提案検討及び連絡調整 ・ 校務分掌組織、職務分析に関すること ・ 施設、設備に関する改修工事関係 ・ その他設立に係る業務に関すること 	校長 教頭 事務長 主幹教諭 各小部会の部長 設立準備担当

(2) 各小部会

<p>教務</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標、目指す学校像、育てる生徒像等に関する事 ・校名、校歌・校章・校旗に関する事 ・教育課程（普通科、総合家庭科）に関する事 ・類型、選択科目、学校設定科目等に関する事 ・履修の手引き作成等に関する事 ・入学者選抜に関する事 	<p>主幹教諭 教務部担当 渉外部担当 教科主任 学年主任 芸術科</p>
<p>教育計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リーフレット、HP、一日体験学習、学校要覧、学校案内等の広報に関する事 ・学則、校内諸規定に関する事 ・年間行事計画の調整、儀式的行事に関する事 ・日課（時間割）等に関する事 ・生徒の学籍等に関する事 ・教科書選定に関する事 ・同窓会、PTAの諸規定等に関する事 ・施設、設備、備品等に関する事 ・その他教育計画全般に関する事 	<p>教務主任 教務部担当 渉外部担当 事務部担当</p>
<p>進路・学習指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進路実現に向けた進路・学習支援に関する事 ・新学力観、新学習観に基づく指導に関する事 ・キャリア教育に関する事 ・学習、進路に係る諸規定、手引きに関する事 ・成績処理システムに関する事 ・その他学習指導、進路指導の業務に関する事 	<p>進路指導部長 学習指導部長 進路指導担当 学習指導担当</p>
<p>生徒指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・制服、その他の学校指定物品等に関する事 ・校則、生徒心得、通学規則等生徒指導の規定に関する事 ・生徒の健康面、安全・防災等に関する事 ・その他生徒指導全般に関する事 	<p>生徒指導部長 健康指導部長 生徒指導担当 健康指導担当 家庭科</p>
<p>特別活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の設置等に関する事 ・学校行事全般に関する事 ・生徒会、家庭クラブの組織、規定に関する事 ・校内環境整備に関する事 ・その他特別活動に関する事 	<p>特別活動部長 環境整備部長 特別活動部担当 環境整備部担当</p>
<p>特色ある教育活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特色ある教育活動の全体計画に関する事 ・グローバル教育の実践に関する事 ・総合的な探究の時間に関する事 ・社会課題についての探究活動に関する事 ・海外研修、交流等に関する事 ・地域連携活動等に関する事 	<p>学習指導部担当 進路指導部担当 家庭科</p>

資料 5

宇都宮中央女子高新校設立準備委員会の審議経過

第1回新校設立準備委員会

- 期 日 令和元年8月7日（水）
場 所 宇都宮中央女子高校 会議室
議 事 1 高校再編計画及び高校再編推進体制について
2 設立準備に係るスケジュール等について
3 設立準備に係る校内組織等について
4 宇都宮中央女子高校の学校概要について
5 新校の目指す方向性について
6 県立学校再編により設立する新校の校名選定要領について

（審議内容）

- ・ 高校再編計画及び高校再編推進体制について県教委から説明があった。
- ・ 設立準備に係るスケジュールについて説明があり了承された。
- ・ 設立準備に係る校内組織等について説明があり了承された。
- ・ 宇都宮中央女子高校の現状について説明があった。
- ・ 新校の目指す方向性について説明があった。
- ・ 新校の校名選定要領について県教委から説明があった。

第2回新校設立準備委員会

- 期 日 令和元年11月1日（金）
場 所 宇都宮中央女子高校 会議室
議 事 1 育てたい生徒像・目指す学校像・学校教育目標等について
2 校名案について
3 校歌・校章・校旗について
4 制服について
5 検討小部会報告
（1）教育課程について
（2）特色ある教育活動について
（3）教育計画小部会より
（4）特別活動小部会より
（5）進路・学習指導小部会より

（審議内容）

- ・ 育てたい生徒像・目指す学校像・学校教育目標等について説明があった。
- ・ 校名案決定までのスケジュールについての説明と校名案アンケートの実施についての説明があり了承された。
- ・ 校歌・校章・校旗の決定までのスケジュールについての説明があった。校章については校名と関わってくるのでまだ具体的には決められない事項であるが、変更があることも前提に準備を進めていくことでも了承された。
- ・ 制服決定までのスケジュールについての説明があった。
- ・ 制服についてのアンケート実施及び方向性の説明があった。
- ・ 教育課程について、参考資料「進学に重点を置く単位制高校について」を用いて説明があった。
- ・ 特色ある教育活動について、本校の目指すべき方向性について説明があった。
- ・ 広報活動について取り組み内容とスケジュールについて説明があった。
- ・ 特別活動小部会の取り組み内容とスケジュールについて説明があった。
- ・ 進路・学習指導小部会の取り組み内容とスケジュールについて説明があった。

第3回新校設立準備委員会

期 日 令和2年2月17日（月）

場 所 宇都宮中央女子高校 会議室

- 議 事
- 1 育てたい生徒像・目指す学校像・学校教育目標等について
 - 2 校名案について
 - 3 校歌・校章・校旗について
 - 4 制服について
 - 5 広報等について
 - 6 検討小部会からの報告
 - (1) 教育課程に関することについて
 - (2) 特色ある教育活動について
 - (3) 特別活動小部会より
 - (4) 進路・学習指導小部会より

(審議内容)

- ・育てる生徒像（案）と目指す学校像（案）について説明があった。生徒指標と教育目標については今後本校の伝統を踏まえ集約していく方向で了承された。
- ・これまでの経緯とアンケート結果の説明があった。5つの案に絞った理由の説明があった。
- ・校歌作成依頼候補者（案）、校章デザイン作成依頼候補者（案）についての説明があった。校章については校名との関連性もあるため、校名案とともに校章の案を提示することが了承された。
- ・制服についてのアンケート結果が提示された。女子の制服については現在の制服のイメージを残しつつ、素材等を変更することと、男子の制服については詰襟とスーツタイプが拮抗しているため今後さらに検討を重ねていく旨の報告があった。
- ・学校全体と総合家庭科の2種類のポスターを作成中である。来年度当初に中学校に配布予定である旨の報告があった。
- ・教育課程に関することについて、教育課程の編成に向けて、1単位授業時間および日課についての方向性が示され了承された。
- ・特色ある教育活動について、課題解決に向けた探究活動について説明がされた。ユネスコスクールへの加盟について了承された。
- ・特別活動小部会より部活動、学校行事について活動計画・内容の充実について検討中である旨の報告があった。
- ・進路・学習指導小部会より、進学支援・学習支援について現在の取り組みの見直しとともに新たな学力観・学習観に基づく授業に関する調査研究について報告があった。

第4回新校設立準備委員会

期 日 令和2年7月22日（水）

場 所 宇都宮中央女子高校 会議室

- 議 事
- 1 学校教育目標・目指す学校像等について
 - 2 校名案について
 - 3 校歌・校章について
 - 4 制服について
 - 5 検討小部会より
 - (1) 広報について
 - (2) 教育課程について
 - (3) 特色ある教育活動について
 - 6 施設について

(審議内容)

- ・学校教育目標・目指す学校像等について説明があり、一部文言の質問があった。
- ・校名案について市内中学校へのアンケート結果が示された。
- ・校名案について「栃木県立宇都宮中央高等学校」とすることが決定された。
- ・校歌について作詞者は佐々木幹郎氏、作曲者は西村朗氏に依頼し現在作業が進行中である旨の報告があった。
- ・男子の制服はスーツタイプが提案され了承された。
- ・広報について、ポスターを中学校に配布した旨の報告があった。
- ・教育課程について現在編成作業の途中経過の説明があった。
- ・特色ある教育活動について、外部機関との連携や学校行事との関連について説明があった。
- ・施設について、県教委から西棟の改修、野球場の設置、弓道場の移設、体育館の新築についての説明があった。

第5回新校設立準備委員会

期 日 令和2年10月30日(金)

場 所 宇都宮中央女子高校 会議室

議 事 1 協議事項

- (1) 新校設置計画(素案)について
- (2) 教育課程について
- (3) 校歌・校章について

2 報告事項

- (1) 教務小部会より
- (2) 特色ある教育活動小部会より
- (3) 進路・学習小部会より

(審議内容)

- ・新校設置計画(素案)について説明があった。
- ・教育課程について説明があった。
- ・校歌について佐々木幹郎氏の作詞が1月に完成予定。その後、西村朗氏に曲を付けてもらう旨の説明があった。
- ・校章について校名が栃木県立宇都宮中央高等学校になったことを受け、現校章を引き継ぐ方向である旨の説明があった。
- ・新校のスローガンについて、早急に決定せず共学化後全学年が揃ったところで検討していく旨の報告があった。
- ・新校のスクールカラーについて、スローガンと同様に共学化後全学年が揃ったところで検討していく旨の報告があった。
- ・課題研究について、実現性を踏まえた上で今後各教科と具体的な検討に入る旨の報告があった。
- ・ユネスコスクールは現在進行中である旨の報告があった。
- ・探究について、「理数探究基礎」という時間を設定する旨の報告があった。
- ・海外研修はマレーシア研修を計画している旨の報告があった。
- ・進路・学習について、これまで取り組んできたこと、今後の課題の報告があった。

第6回新校設立準備委員会

期 日 令和3年2月3日（水）～17日（水）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面開催とした。

- 議 事
- 1 新校設置計画（案）について
 - 2 制服について
 - 3 広報計画について
 - 4 学校運営・特色ある教育活動について
 - 5 新校への円滑な移行に関する事

（審議内容）

- ・前回の準備委員会での指摘をもとに修正をした。
- ・校歌、校章、制服の項目に記述を加えた。
- ・試作品を製作済み。細部は今後検討する。
- ・年度内にリーフレットを作成する。3月1日にとちぎテレビにて共学化の紹介についての放送を予定している。
- ・普通科、総合家庭科それぞれの教育課程表に基づいて検討を加えた。
- ・探究活動のテーマ、学年ごとの実施内容等について検討を加えた。
- ・グローバル教育の一環として、短期海外研修（マレーシア）を予定している。
- ・ユネスコスクールへの加盟については、初期手続きが終了した。
- ・設置計画に基づく整備の工事が、3月から始まる予定である。

資料 6

宇都宮中央女子高新校設立準備実務作業部会の審議経過

第1回新校設立準備実務作業部会

- 期 日 令和元年7月18日(木)
場 所 宇都宮中央女子高校 応接室
議 事 1 高校再編計画及び高校再編推進体制について
2 設立準備に係るスケジュール等について
3 設立準備に係る校内組織等について
4 宇都宮中央女子高校の学校概要について
5 新校の目指す方向性について
6 高校再編による校名変更の考え方について

第2回新校設立準備実務作業部会

- 期 日 令和元年9月26日(木)
場 所 宇都宮中央女子高校 応接室
議 事 1 育てたい生徒像・目指す学校像・学校教育目標等について
2 校名案について
3 校歌・校章・校旗について
4 制服について
5 教育課程について
6 検討小部会より
(1) 特色ある教育活動小部会より
(2) 特別活動小部会より

第3回新校設立準備実務作業部会

- 期 日 令和元年10月21日(月)
場 所 宇都宮中央女子高校 応接室
議 事 1 育てたい生徒像・目指す学校像・学校教育目標等について
2 校名案について
3 校歌・校章・校旗について
4 制服について
5 教育課程について
6 検討小部会からの報告
(1) 特色ある教育活動小部会より
(2) 特別活動小部会より

第4回新校設立準備実務作業部会

- 期 日 令和元年12月17日(火)
場 所 宇都宮中央女子高校 応接室
議 事 1 育てたい生徒像・目指す学校像・学校教育目標等について
2 校名案について
3 校歌・校章・校旗について
4 制服について
5 広報等について
6 教育課程について

- 7 検討小部会からの報告
- (1) 特色ある教育活動小部会より
- (2) 特別活動小部会より
- (3) 進路・学習指導小部会より

第5回新校設立準備実務作業部会

- 期 日 令和2年2月7日(金)
- 場 所 宇都宮中央女子高校 応接室
- 議 事
- 1 育てたい生徒像・目指す学校像・学校教育目標等について
 - 2 校名案について
 - 3 校歌・校章・校旗について
 - 4 制服について
 - 5 広報等について
 - 6 教育課程について
 - 7 検討小部会からの報告
 - (1) 特色ある教育活動小部会より
 - (2) 特別活動小部会より
 - (3) 進路・学習指導小部会より

第6回新校設立準備実務作業部会

- 期 日 令和2年3月23日(月)
- 場 所 宇都宮中央女子高校 応接室
- 議 事
- 1 育てたい生徒像・目指す学校像・学校教育目標等について
 - 2 校名案について
 - 3 校歌・校章・校旗について
 - 4 制服について
 - 5 広報等について
 - 6 教育課程について
 - 7 検討小部会からの報告
 - (1) 特色ある教育活動小部会より
 - (2) 特別活動小部会より
 - (3) 進路・学習指導小部会より

第7回新校設立準備実務作業部会

- 期 日 令和2年7月7日(火)
- 場 所 宇都宮中央女子高校 応接室
- 議 事
- 1 学校教育目標・目指す学校像等について
 - 2 校名案、校歌・校章について
 - 3 制服について
 - 4 広報等について
 - 5 教育課程について
 - 6 検討小部会からの報告
 - (1) 特色ある教育活動小部会より
 - (2) 特別活動小部会より
 - (3) 進路・学習指導小部会より
 - 7 施設について

第8回新校設立準備実務作業部会

- 期 日 令和2年9月10日（木）
場 所 宇都宮中央女子高校 応接室
議 事 1 学校教育目標・目指す学校像等について
2 校名案、校歌・校章について
3 教育課程について
4 学校運営・特色ある教育活動について
（1）生徒指導小部会より
（2）特色ある教育活動小部会より
（3）進路・学習指導小部会より
5 施設について

第9回新校設立準備実務作業部会

- 期 日 令和2年10月15日（木）
場 所 宇都宮中央女子高校 応接室
議 事 1 新校設置計画（素案）について
2 教育課程について
3 制服について
4 広報計画について
5 学校運営・特色ある教育活動について
（1）教務小部会より
（2）特色ある教育活動小部会より
（3）特別活動小部会より
（4）進路・学習指導小部会より

第10回新校設立準備実務作業部会

- 期 日 令和2年12月22日（火）
場 所 宇都宮中央女子高校 応接室
議 事 1 新校設置計画（案）について
2 教育課程について
3 制服について
4 広報計画について
5 学校運営・特色ある教育活動の進捗状況について
（1）教務小部会より
（2）教育計画小部会より
（3）進路・学習小部会より
（4）生徒指導小部会より
（5）特別活動小部会より
（6）特色ある教育活動小部会より
6 今後の取り組みについて

宇都宮中央高等学校令和4年度入学生教育課程表

(設)…学校設定科目 (専)は専門学科に関わる科目

教科	科目名	標準 単位数	総合家庭科				普通科							
			1年	2年	3年	合計	1年	2年		3年		合計		
							文型		理型					
国語	現代の国語	2	2			2	2					2	2	
	現代語文	2	2			2	3					3	3	
	論語	4		2	2	4		2	2	2	2	4	4	
	古文	4				4		2	2	2	2	4	4	
	(設)時事探	4		3	2	5		3	3		2	5	3	
	(設)国語研究	-				-				2Aa		2Aa		
	(設)古典研究	-				-				3C		3C		
地理歴史	地理総合	2			2	2		2	2			2	2	
	地理総合	3				3				4A	3E	4A	3E	
	世界史探	2		2		2	2					2	2	
	世界史探	3			4B	4B		3〇		2〇		5〇	5〇	
	日本史探	3			4B	4B		3〇		2〇		5〇	5〇	
	(設)世界史研究	-				-				2●		2●		
	(設)日本史研究	-				-				2●		2●		
	(設)世界地域史研究	-				-				3D		3D		
	(設)日本文化史研究	-				-				3D		3D		
	(設)公共関係	2	2			2	2					2	2	
数学	数学Ⅰ	3	3			3	4					4	4	
	数学Ⅱ	4		4★		4★		4	5			4	5	
	数学Ⅲ	3				3					5■	2	5■	
	数学A	2		2		2	2					2	2	
	数学B	2			2A	2A		2	2			2	2	
	数学C	2				2				3C		2	3C	
	(設)応用数学α①	-			2A	2A								
	(設)応用数学α②	-								3C		3C		
	(設)応用数学β①	-								3D		3D		
	(設)応用数学β②	-								3C		3C		
	(設)応用数学γ	-								3D		3D		
	(設)数学特講α	-									5■	5■		
	(設)数学特講β	-									5■	5■		
	理科	物理基礎	2	2			2	2					2	2
		化学基礎	2		2		2		2	3▲ 2前 2後		4▲	2	7▲
生物基礎		2	2		4B	4B	2				5	2	7	
生物基礎		2			4B	4B	2					2	2	
(設)物理研究		-				-			3▲		4▲	3E	7▲	
(設)化学研究		-				-					3E	3E	3E	
(設)生物研究		-				-					3E	3E	3E	
(設)総合理科		-			4B	4B					3E	3E	3E	
(設)総合理科		-				-					3B	3B	3B	
保健		保健	7~8	2	2	3	7	2	2	2	3	3	7	7
	保健	2	1	1		2	1	1	1			2	2	
	(専)保健	3~9								3D		3D	3D	
芸術	音楽Ⅰ	2	2◆			2◆	2◆					2◆	2◆	
	音楽Ⅱ	2		2★		2★								
	美術Ⅰ	2	2◆			2◆	2◆					2◆	2◆	
	美術Ⅱ	2		2★		2★								
	書道Ⅰ	2	2◆			2◆	2◆					2◆	2◆	
	書道Ⅱ	2		2★		2★								
	(設)応用音楽	-			2A	2A				2Ab		2Ab		
	(設)応用美術	-			2A	2A				2Ab		2Ab		
(設)応用書道	-			2A	2A				2Ab		2Ab			
(設)総合音楽	-								3B		3B			
(設)総合美術	-								3B		3B			
(設)総合書道	-								3B		3B			
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3			3	4					4	4	
	英語コミュニケーションⅡ	4		4		4		4	4			4	4	
	英語コミュニケーションⅢ	4			4	4				4	4	4	4	
	論理・表現Ⅰ	2	2			2	2					2	2	
	論理・表現Ⅱ	2		2		2		3	2			3	2	
	論理・表現Ⅲ	2			2	2				2	2	2	2	
	(設)英展	-		2★		2★						2Aa	2Aa	
(設)英語研究	-				-				2Aa		2Aa			
家庭	家庭	2				2	2					2	2	
	家庭	4	4			4						2	2	
情報	情報Ⅰ	2				2		2	2			2	2	
	情報Ⅱ	1	1			1	1					1	1	
	(専)生活産業	2	1	1		2								
	(専)課題	2			3	3								
	(専)生活産業	2~4		1	1	2								
	(専)消費生活	2~4			2	2								
	(専)保育	2~8		2		2				3D		3D		
	(専)保育	2~8			3◇	3◇								
	(専)服飾	2~4			2A	2A								
	(専)ファッション	2~8	2	2		4								
	(専)ファッション	2~10			3◇	3◇								
	(専)フードデザイン	2~8	2	2		4				3C		3C		
	(専)調理	2~14			3	3								
	(専)住生活	2~6		2★		2★								
	小計		33	32	33	98	33	32	32	32	32	97	97	
総合的な探究の時間	3~6				1						1	2		
ホーム	3	1	1	1	3	1	1	1	1	1	2	2		
合計		34	34	34	102	34	34	34	34	34	102	102		

※「総合的な探究の時間」の代替：総合家庭科1年次「理数探究基礎」3年次「課題研究」、普通科1年次「理数探究基礎」

※「情報Ⅰ」の代替：総合家庭科2・3年次「生活産業情報」

選択科目備考	各科・各学年それぞれ	◆, ◇, ○, ●, ▲, ■は、その中の1科目を選択	
	総合家庭科	4★あるいは2★から2科目選択。2★を選択する場合、2科目中1科目は芸術Ⅱを継続履修	
	普通科	文型	2A, 4Bの中からそれぞれ1科目選択 4Aあるいは2Aa, 2Abの中からそれぞれ1科目選択 3B, 3C, 3Dの中からそれぞれ1科目選択。3C, 3Dで数学を選択する場合は以下の取り方。 αⅡを選択する場合はαⅠが必須、αⅠは単独選択可、他は指定された組み合わせで選択。 世界史探究、日本史探究は継続履修/世界テーマ史研究、日本テーマ史研究、世界地域史研究、日本文化史は探究科目と合わせて選択
		理型	3Eの中から1科目選択 物理、生物は継続履修
選択科目は、希望者の人数によっては講座が開講されないこともあります。			

栃木県立足利高等学校設置計画

令和3（2021）年3月
足利高・足利女子高新校設立準備委員会

目 次

1	足利高校の基本的枠組み	p. 2
2	教育理念(校訓)、教育目標、育成する生徒像	p. 3
3	教育課程編成の基本方針	p. 3
4	特色ある教育活動	p. 4
5	校歌、校章、制服	p. 5
6	校地・校舎	p. 7
7	施設・設備	p. 7

資料1 足利高・足利女子高新校設立準備委員会設置要綱

資料2 足利高・足利女子高新校設立準備委員会委員名簿

資料3 足利高・足利女子高新校設立準備実務作業部会部会員名簿

資料4 足利高・足利女子高新校設立準備組織体系図

資料5 足利高・足利女子高新校設立準備委員会の審議経過

資料6 足利高・足利女子高新校設立準備実務作業部会の審議経過

資料7 足利高等学校 令和4(2022)年度入学生教育課程表

資料8 足利高等学校 校歌・校章制作者略歴

1 足利高校の基本的枠組み

(1) 第二期県立高等学校再編計画

令和4(2022)年度に足利高校と足利女子高校を統合し、共学化する。併せて、進学に重点を置く単位制を導入する。

(2) 校名

【校名】 とちぎけんりつあしかがこうとうがっこう
「**栃木県立足利高等学校**」

【命名の趣旨】

足利高・足利女子高両校の伝統と史跡足利学校の向学の精神を受け継ぎ、地域・足利を代表する高校を表す。

(3) 設置場所

統 合 当 初：栃木県足利市本城1丁目1629番地
(現 足利高校校地)

新校舎等整備後：栃木県足利市有楽町
(足利女子高校校地及び足利市民会館敷地等)

(4) 開校年月日

令和4(2022)年4月1日

(5) 設置学科・募集定員

【設置学科】 普通科

【募集定員】 6学級(240名)

2 教育理念(校訓)、教育目標、育成する生徒像

(1) 教育理念(校訓)

進取 忠恕 自学

(2) 教育目標

高い志と知的好奇心を持ち、豊かな感性と良識を身につけ、次代を逞しく拓いていくことのできる有為な人材を育成する。

(3) 育成する生徒像

- ① 確かな学力と広い視野を身につけた生徒
- ② 主体的に課題を見だし解決しようとする意欲と協働性を身につけた生徒
- ③ 郷土愛にあふれ、グローバルリーダーとしての国際感覚を身につけた生徒
- ④ 自他を敬愛し、社会に貢献しようとする姿勢を身につけた生徒
- ⑤ 新たな価値をつくりだし時代を切り拓く強い意志と創造性を身につけた生徒

3 教育課程編成の基本方針

生徒の興味・関心や進路希望に応じた多様な教科・科目の開設など、単位制の利点を生かした教育課程を編成する。

- ① 難関大学を始め希望する大学への進路実現に向けた応用力や実践力向上のための科目を開設する。
- ② 学問への興味・関心や探究心を高める発展的な学習内容の科目を開設する。
- ③ 個に応じたきめ細かな指導の充実に向け、学習習熟度別授業や少人数授業を実施する。

4 特色ある教育活動

(1) 進学に重点を置く普通科単位制の利点を生かした教育課程の編成ときめ細かな進路指導の推進

- ① 興味関心や希望進路に応じた発展的学習を扱う選択科目の開設
- ② 個に応じた手厚い指導を可能とする学習習熟度別授業や少人数授業の実施
- ③ 個別最適化された学びを推進するためのICT機器の活用
- ④ 生徒一人一人の自己実現を支援する全校体制による進路指導

(2) 「足利から世界へ」をテーマに自分と社会をつなぐ探究活動の推進

- ① SDGsの視点から地域および世界の課題とその解決策を探究する活動の実施
- ② SSHの手法を継承し、科学的探究力を育むプログラムの実施
- ③ 地域の自然、歴史、文化、産業に直に触れ、学びを深める活動の実施
- ④ 第一線で活躍している専門家や先進企業、研究施設等との連携

(3) 主体的に社会に参画する態度を育む特別活動の充実

- ① リベラルな学校文化の醸成に向けた生徒主体による学校行事等の企画・運営
- ② 学年の枠を越えた各種活動・行事の実施による異年齢交流の推進
- ③ 地域の文化・スポーツ交流活動やボランティア活動等への積極的参加
- ④ 国際的視野を育み、異文化理解を深める海外研修や海外交流等の実施

5 校歌、校章、制服

(1) 校歌

作詞 売野雅勇

作曲 林 哲司

編曲 林 哲司

幾億の言葉から 真実の砂の粒を
見つけ出す人でいて 無垢なところのまま

目に見えぬ王冠と いつか君は知るだろう
その孤独 その勇気 秘かな優雅さも

魂にそっと耳を澄まして
音楽の鳴る方へ歩け
星に道を訊くよう

人がいつしか忘れ 見失った楽園を
もういちど探し出す 日々を生きてゆこう

青空に稲妻が 切り裂いた道のように
身を焦がす憧れで 未来を切り開き

人の栄光は ここに存ること
誰か愛さず生きてゆけぬ
ひとつ ひとつの 宝石

魂にそっと耳を澄まして
愛が聴こえる彼方目指せ
あゝゝ 足利高校

(2) 校章



意匠解説 キーワード ～融和・理想・情熱・多様性・伝統～

中央の紅い盾状のエンブレムから立ちあがる星は、高い理想に結集する高邁な精神と情熱を表す。「学問の木」とも呼ばれる楷の木は、世界に誇る足利学校にちなむ。左右に交差する葉柄が統合する二校の融和を象徴し、一枚だけ異なる葉を挿入して生徒一人ひとりの個性を尊重することを表現している。楷の木の青色は、清流渡良瀬川にちなみ清廉とうるおいを象徴する。（有坂隆二氏）

(3) 制服

※ 現在検討中

決定次第、学校のホームページで公表します。

6 校地・校舎

統合当初は足利高校の校地・校舎を使用し、足利女子高校の校地及び足利市民会館の敷地に新校舎を整備した後移転する。新校舎移転後も、足利高校のグラウンド等は部活動等で使用する。

7 施設・設備

(1) HR教室

新JIS規格(平成11(1999)年改正)の机のサイズを考慮し、従来より広い面積を有するHR教室(普通教室)を整備する。

(2) 講義室

単位制による学習習熟度別少人数授業や多様な選択科目の授業に柔軟に対応できる複数の講義室(30人程度を収容できる普通教室)を整備する。

(3) 大教室

生徒の学習成果の発表・討論の場や、科目履修ガイダンスなど学年全員に対する一斉指導の場として、移動可能な机椅子や視聴覚機器等を備えた、1学年全員(240人)が収容可能な面積を有する大教室を整備する。

(4) 自習室

生徒一人一人が主体的に活動できる自学自習の場として、自習室を整備する。

(5) 図書室

新学習指導要領が重視する探究的な学びや、生徒の自主的な学習の場として、十分な面積と機能を有する図書室を整備する。

(6) 進路関係諸室

進路相談やガイダンス指導の場、進路関係資料の保管・閲覧の場として、十分な面積と機能を有する進路指導・相談室、進路資料室を整備する。

(7) 体育館

一般的な県立高校の第一体育館及び第二体育館を一体化し、バスケットボールコート4面を配置できる面積を有するアリーナを備えた体育館を整備する。

資料 1

足利高・足利女子高新校設立準備委員会設置要綱

(趣 旨)

第 1 条 この要綱は、「県立高校再編推進要綱」(平成 29 年 12 月 1 日施行) 第 4 条に基づき、足利高校及び足利女子高校(以下「両校」という。)に設置する新校設立準備委員会(以下「準備委員会」という。)の運営等について、必要な事項を定めるものとする。

(組 織)

第 2 条 準備委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって組織する。

- 2 委員長は、両校の校長の協議により、一方の高校の校長をもって充てる。
- 3 副委員長は、前項において委員長とならない高校の校長をもって充てる。
- 4 委員は、学識経験者、地元関係者、学校関係者及び県教育委員会事務局職員等の中から 10 名程度を選任し、委員長が委嘱する。

(所掌事項)

第 3 条 準備委員会は、次に掲げる業務を行う。

- (1) 新校設置計画に関すること。
- (2) 施設・設備の整備等に関すること。
- (3) 新校の広報に関すること。
- (4) その他新校への移行の円滑な推進に関すること。

(会 議)

第 4 条 委員長は、必要に応じて会議を招集し、これを主宰する。

- 2 委員長は、必要に応じて会議に関係者の出席を求め、意見を聴くことができる。
- 3 委員長は、委員会において協議又は決定した事項については、高校再編推進本部に報告するものとする。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(実務作業部会)

第 5 条 準備委員会に専門的事項を調査検討するため、実務作業部会(以下「作業部会」という。)を置く。

- 2 作業部会の部会員は、委員長が指名する者をもって充てる。
- 3 作業部会の会議は、委員長が召集し、これを主宰する。

4 作業部会は、調査検討すべき事項ごとに、検討小部会を置くことができる。

(設置期間)

第6条 準備委員会の設置期間は、準備委員会が設置された日から新校が開校する年の3月31日までとする。

(庶務)

第7条 準備委員会の庶務は、両校の職員において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、準備委員会に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成29年12月1日から施行する。

資料2

足利高・足利女子高新校設立準備委員会委員名簿

	役 職	氏 名	所 属
1	委 員 長	横尾 浩一	足利高等学校長
2	副委員長	渡邊 佐知夫	足利女子高等学校長
3	委 員	人見 久城	宇都宮大学教育学部教授
4	委 員	若井 祐平	足利市教育委員会教育長
5	委 員	柴崎 正人	足利市総合政策部長
6	委 員	柏瀬 和彦	足利市立毛野中学校長
7	委 員	早川 慶治郎	足利高等学校同窓会長
8	委 員	松嶋 英子	足利女子高等学校同窓会長
9	委 員	小笠原 俊行	足利高等学校前PTA会長
10	委 員	小林 徳章	足利女子高等学校前PTA会長
11	委 員	青柳 育夫	県教育委員会総務課高校再編推進担当主幹 (平成31年4月～令和2年3月)
		吉田 嘉宏	県教育委員会総務課高校再編推進担当主幹 (令和2年4月～令和3年3月)
12	委 員	山下 拓男	県教育委員会高校教育課指導担当課長補佐

資料3

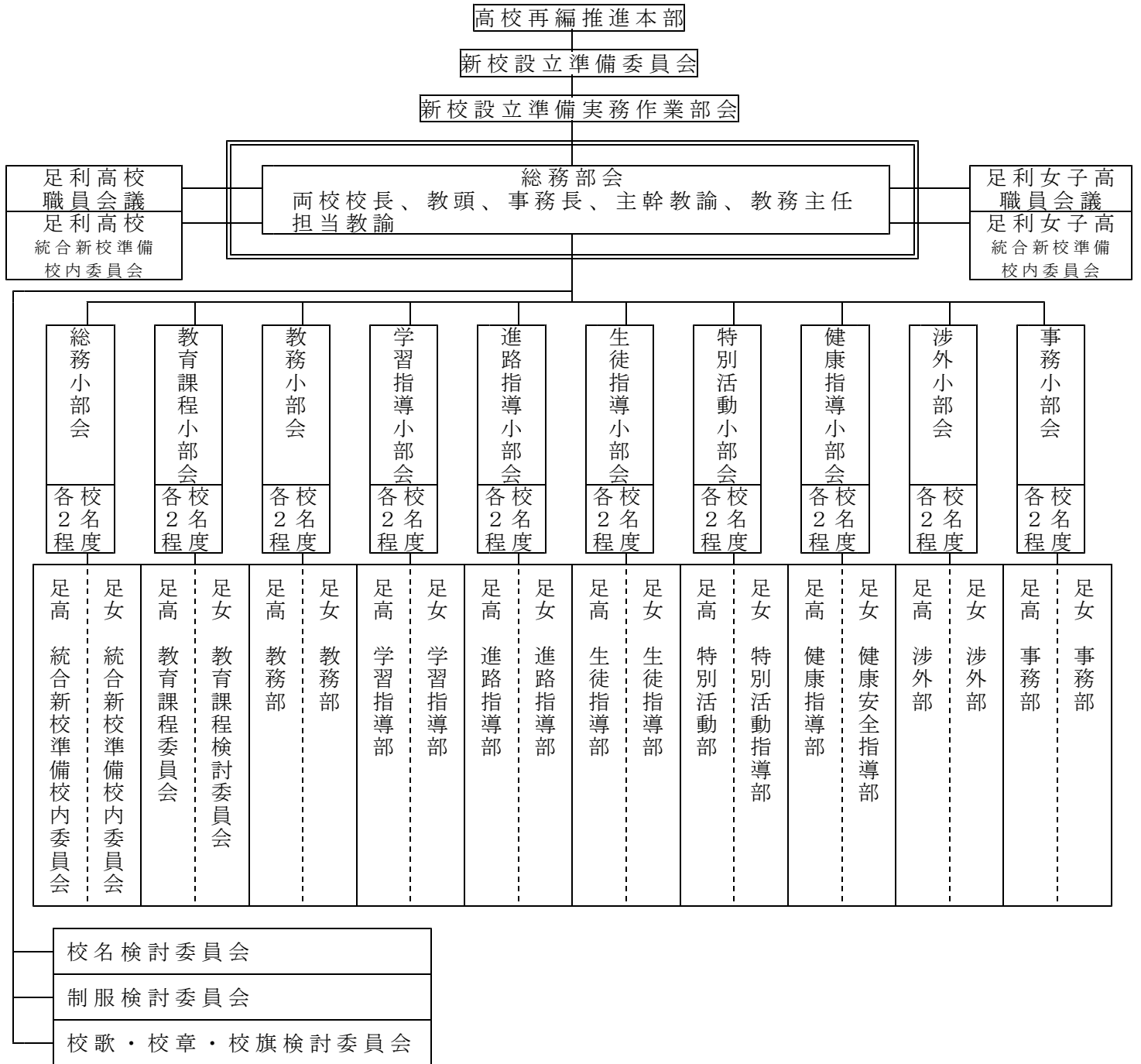
足利高・足利女子高新校設立準備実務作業部会部会員名簿

	役 職	氏 名	所 属
1	部会長	横尾 浩一	足利高等学校長
2	副部会長	渡邊 佐知夫	足利女子高等学校長
3	部会員	殿岡 宏之	足利高等学校教頭 (平成31年4月～令和2年3月)
		武藤 敬一	足利高等学校教頭 (令和2年4月～令和3年3月)
4	部会員	郡司 利枝	足利女子高等学校教頭 (平成31年4月～令和2年3月)
		増居 久也	足利女子高等学校教頭 (令和2年4月～令和3年3月)
5	部会員	神長 吉則	足利高等学校事務長
6	部会員	津田 明美	足利女子高等学校事務長
7	部会員	秋山 豊	足利高等学校主幹教諭 (平成31年4月～令和2年3月)
		鈴木 誠	足利高等学校主幹教諭 (令和2年4月～令和3年3月)
8	部会員	増居 久也	足利女子高等学校教諭 (平成31年4月～令和2年3月)
		靱山 秀夫	足利女子高等学校主幹教諭(令和2年4月～令和3年3月)
9	部会員	武藤 敬一	足利高等学校教務主任 (平成31年4月～令和2年3月)
		伊東 徹	足利高等学校教務主任 (令和2年4月～令和3年3月)
10	部会員	渋井 武志	足利女子高等学校教務主任
11	部会員	高橋 伸輔	県教育委員会高校教育課指導担当副主幹
12	部会員	植竹 暁	県教育委員会総務課高校再編推進担当副主幹 (平成31年4月～令和2年3月)
		鈴木 大吾	県教育委員会総務課高校再編推進担当指導主事 (令和2年4月～令和3年3月)
13	部会員	鈴木 啓介	県教育委員会総務課高校再編推進担当指導主事

資料 4

足利高・足利女子高新校設立準備組織体系図

1 組織図



2 各担当の主な職務

(1) 各小部会

小部会名	検 討 事 項	担 当 者	
		足利高	足女高
総務小部会	<ul style="list-style-type: none"> ・準備スケジュール関係、及び各校務分掌部との連絡・調整 ・校名・校歌・校章の制作方針検討、及び制作に伴う2校間の連絡・調整 ・校訓・教育目標等の原案検討、及び2校間の連絡・調整 ・開校式等の検討、及び2校間の連絡・調整 ・広報関係の検討、及び2校間の連絡・調整 	教頭 主幹教諭	教頭 再編担当 (令和元年度) 主幹教諭 (令和2年度)
教育課程小部会	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の編成、及び2校間の連絡・調整 ・進学に重点を置く単位制高校としての特色づくり立案 ・授業時数・使用教室・選択科目等のシミュレーション、及び2校間の連絡・調整 	主幹教諭 教務主任	再編担当 (令和元年度) 主幹教諭 (令和2年度) 教務主任
教務小部会	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌組織案・職務分析案の作成、及び2校間の連絡・調整 ・年間行事計画案・関係諸規定案の作成、及び2校間の連絡・調整 ・学校要覧案・学校案内案・リーフレット案・HP案の作成、及び2校間の連絡・調整 ・学則案・危機管理マニュアル案の作成、及び2校間の連絡・調整 ・入学者選抜作業体系の整備、及び2校間の連絡・調整 	教務主任 教務副主任	教務主任 教務副主任
学習指導小部会	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験を含む年間行事計画案の作成、及び2校間の連絡・調整 ・学習指導関係諸規定案の作成、及び2校間の連絡・調整 ・シラバス・学習の手引き案の作成、及び2校間の連絡・調整 ・成績処理システムの開発及び検討 ・図書館の運営と利用に関する諸規定案の作成及び2校間の連絡・調整 ・人権教育・国際理解教育等指導計画案の作成及び2校間の連絡・調整 ・「総合的な探究の時間」の計画案作成、及び2校間の連絡・調整 	学習指導部長 学習指導副部長	学習指導部長 学習指導副部長
進路指導小部会	<ul style="list-style-type: none"> ・進路関係行事等の検討、及び2校間の連絡・調整 ・進路指導関係諸規定案の作成、及び2校間の連絡・調整 ・進路指導に関する手引き案の作成、及び2校間の連絡・調整 ・指定校の調整と取り扱い方針の検討 ・校内実力テストや校外模試の実施方針の検討 ・進路指導の情報管理作業体制の整備 	進路指導部長 進路指導副部長	進路指導部長 進路指導副部長
生徒指導小部会	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画案の作成、及び2校間の連絡・調整 ・生徒指導関係諸規定案の作成、及び2校間の連絡・調整 ・関係諸表簿及び生徒心得案の作成、及び2校間の連絡・調整 ・制服の検討 ・交通指導體制案・校外団体等との連携協力体制案の作成、及び2校間の連絡・調整 	生徒指導部長 生徒指導副部長	生徒指導部長 生徒指導副部長

特別活動小部会	<ul style="list-style-type: none"> 部活動関係の検討 年間指導計画案・関係諸規定案の作成（部室利用規定、校外競技参加規定等）、及び2校間の連絡・調整 生徒会関係の検討、及び2校間の連絡・調整 LHR年間指導計画案の作成、及び2校間の連絡・調整 	特別活動部長 特別活動副部長	特別活動指導部長 特別活動指導副部長
健康指導小部会	<ul style="list-style-type: none"> 保健年間計画案・関係諸規定案の作成、及び2校間の連絡・調整 校内安全点検体制・緊急連絡体制の素案作成及び2校間の連絡・調整 防災計画の素案作成、及び2校間の連絡・調整 学校医との連携手順の素案作成、及び2校間の連絡・調整 	健康指導部長 健康指導副部長	健康安全指導部長 健康安全指導副部長
渉外小部会	<ul style="list-style-type: none"> P T A年間計画・諸規定の素案作成、及び2校間の連絡・調整 P T Aの統合後の形態の素案作成、及び2校間の連絡・調整 同窓会の統合後の形態の素案作成、及び2校間の連絡・調整 同窓会年間計画・諸規定の素案作成、及び2校間の連絡・調整 同窓会物品・同窓会名簿の扱いについての素案作成、及び2校間の連絡・調整 	渉外部長 渉外副部長	渉外部長 渉外副部長
事務小部会	<ul style="list-style-type: none"> 庶務関係（給与、旅費、授業料、生徒異動） 会計関係（歳入、歳出） 新校建物改築計画 管財関係（営繕、建物の管理、公印、金庫） 物品関係（物品の移動・購入・修繕・登録） 団体会計（P T A、同窓会、職員親睦会） 	事務担当者 2名	事務担当者 2名

(2) 各検討委員会

◎○印チーフ

検討委員会名	検討事項	足利高	足女高
校名検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> 校名案の募集・集計・候補の選定、アンケートの実施・集計、校名案の絞り込み等の検討 	◎ 鈴木裕 他 6 名	○ 久保田 他 8 名
制服検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> 制服についての検討 	◎ 日向野 他 5 名	○ 染宮 他 6 名
校歌・校章・校旗 検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> 校歌制作についての検討 校章・校旗制作についての検討 	○ 林 (令和元年度) ○ 塩田 (令和2年度) 他 5 名	◎ 会田 他 6 名

資料5

足利高・足利女子高新校設立準備委員会の審議経過

第1回新校設立準備委員会

期 日 令和元(2019)年7月4日(木)

場 所 足利高校 崖響ホール

議 事

協議事項

- 1 高校再編計画及び高校再編推進体制について
- 2 昨年度までに確定していることについて
- 3 設立準備に係るスケジュール等について
- 4 設立準備に係る校内組織等について
- 5 足利高・足利女子高の学校概要について
- 6 新校の目指す方向性について
- 7 県立高校再編により設立する新校の校名選定要領について

(協議事項の内容)

- ・高校再編計画及び高校再編推進体制等について県教委から説明があった。
- ・令和2・3年度入学生教育課程やクラス編成等、昨年度までに確定していることについて説明があった。
- ・設立準備に係るスケジュールについて説明があり、了承された。
- ・設立準備に係る校内組織について説明があり、了承された。
- ・両校の学校概要について説明があった。
- ・新校の目指す方向性についての説明後、各準備委員の方から意見を頂き、次回委員会において、基本概念案を提示することが了承された。
- ・県立高校再編における校名変更の考え方について県教委から説明があり、次回委員会において選定方法案を提示することが了承された。

第2回新校設立準備委員会

期 日 令和元(2019)年9月27日(金)

場 所 足利女子高校 会議室

議 事

協議事項

- 1 足高・足女統合新校基本概念(案)について
- 2 校名案の選定方法について
- 3 制服について
- 4 広報等について

(協議事項の内容)

- ・教育目標・育成する生徒像の元となるものについて説明があり、了承された。キャッチフレーズについて、検討を継続することとなった。
- ・校名案の選定方法について説明があり、了承された。
- ・制服について、選定の流れ、制服検討委員会の設立及びアンケートの実施について説明があり、了承された。また、準備委員から制服について意見を聴取した。
- ・広報等について、時期や内容の説明があり、了承された。

第3回新校設立準備委員会

期 日 令和2(2020)年2月21日(金)

場 所 足利高校 崖響ホール

議 事

協議事項

- 1 学校教育目標・目指す学校像等について
- 2 校名案について
- 3 制服案について
- 4 校歌案・校章案について

(協議事項の内容)

- ・教育理念(校訓)、育成する生徒像、生徒に身につけさせたい資質・能力、目指す学校像及び特色ある教育活動について説明があり、検討を継続することとなった。
- ・校名について、5つの案に絞ってアンケートを実施することで了承された。
- ・制服について、原則として現行のままとすることで了承された。
- ・両校の校歌・校章について説明があり、新しい校歌・校章を制作することで了承された。また、今後のスケジュール・制作依頼者の選定について意見を聴取した。

第4回新校設立準備委員会

期 日 令和2(2020)年6月5日(金)

場 所 足利女子高校 会議室

議 事

協議事項

- 1 教育理念(校訓)等について
- 2 校名案について
- 3 校歌案・校章案について

(協議事項の内容)

- ・教育理念(校訓)及び生徒に身につけさせたい資質・能力について説明があり、了承された。
- ・特色ある教育活動について、教職員の意見を踏まえて検討していくこととなった。
- ・校名案について説明があり、部会案どおり了承された。また、今後のスケジュールについて県教委から説明があった。
- ・校歌の制作依頼者の候補について説明があり、部会案どおり了承された。
- ・校章の制作依頼者の候補を選定し、交渉順位が決定された。

第5回新校設立準備委員会

期 日 令和2(2020)年10月9日(金)

場 所 足利高校 崖響ホール

議 事

協議事項

- 1 特色ある教育活動について
- 2 教育目標等(生徒に身につけさせたい資質・能力)について
- 3 新校設置計画について

報告事項

- 1 目指す学校像について
- 2 広報計画について
- 3 校歌・校章の進捗状況について

(協議事項の内容)

- ・特色ある教育活動について説明があり、検討を継続することとなった。
- ・生徒に身につけさせたい資質・能力の順序と説明文について説明があり、了承された。
- ・新校設置計画について説明があり、今後のスケジュールを確認した。

(報告事項の内容)

- ・目指す学校像の進捗状況について説明があった。
- ・広報計画について、時期や内容の説明があった。
- ・校歌・校章の進捗状況について説明があった。

第6回新校設立準備委員会

期 日 令和3(2021)年2月3日(水)

書面による開催

議 事

協議事項

- 1 栃木県立足利高等学校設置計画の検討
- 2 目指す学校像についての検討

(協議事項の内容)

- ・栃木県立足利高等学校設置計画について、書面のとおり了承された。
- ・目指す学校像について、書面のとおり了承された。

資料6

足利高・足利女子高新校設立準備実務作業部会の審議経過

第1回新校設立準備実務作業部会

- 期 日 令和元(2019)年6月14日(金)
場 所 足利高校 崖響ホール
議 事 1 高校再編計画及び高校再編推進体制について
2 昨年度までに確定していることについて
3 設立準備に係るスケジュール等について
4 設立準備に係る校内組織等について
5 足利高校・足利女子高校の学校概要について
6 新校の目指す方向性について
7 高校再編による校名変更の考え方について
8 広報等について
9 その他(中学校訪問報告)

第2回新校設立準備実務作業部会

- 期 日 令和元(2019)年9月13日(金)
場 所 足利女子高校 会議室
議 事 1 足高足女統合新校基本概念(教育目標・育成する生徒像)について
2 教育課程について
3 校名案について
4 校歌、校章、制服等について
5 広報等について

第3回新校設立準備実務作業部会

- 期 日 令和元(2019)年9月20日(金)
場 所 足利女子高校 会議室
議 事 1 足高足女統合新校基本概念(教育目標・育成する生徒像)について
2 校名案について
3 制服について
4 広報等について

第4回新校設立準備実務作業部会

- 期 日 令和元(2019)年12月16日(月)
場 所 足利高校 崖響ホール
議 事 1 高校再編計画及び高校再編推進体制学校教育目標・目指す学校像・募集
する生徒像等について
2 校名案について
3 制服案について
4 各小部会での進捗状況及び課題について

第5回新校設立準備実務作業部会

期 日 令和2(2020)年1月21日(火)

場 所 足利高校 崖響ホール

- 議 事
- 1 学校教育目標・目指す学校像・募集する生徒像等について
 - 2 校名案について
 - 3 制服案について
 - 4 校歌案・校章案について
 - 5 足高・足女合同行事について
 - 6 各種委員会の立ち上げについて

第6回新校設立準備実務作業部会

期 日 令和2(2020)年3月26日(木)

場 所 足利女子高校 会議室

- 議 事
- 1 校名案アンケートについて
 - 2 校歌案・校章案について
 - 3 令和4年度入学生教育課程表について
 - 4 教育理念(校訓)等について
 - 5 小部会報告について
 - 6 各種委員会の立ち上げについて
 - 7 その他(新校舎等整備基本計画の概要)

第7回新校設立準備実務作業部会

期 日 令和2(2020)年5月28日(木)

場 所 足利女子高校 会議室

- 議 事
- 1 教育理念(校訓)等について
 - 2 令和4年度入学生教育課程案について
 - 3 校名案について
 - 4 校歌案・校章案・校旗案について
 - 5 制服案について

第8回新校設立準備実務作業部会

期 日 令和2(2020)年7月21日(火)

場 所 足利高校 崖響ホール

- 議 事
- 1 教育目標等について
 - 2 目指す学校像について
 - 3 特色ある教育活動について
 - 4 令和4年度入学生教育課程案について
 - 5 広報等について
 - 6 制服案について
 - 7 新校設置計画について
 - 8 その他(令和3年度入学生修学旅行及び校旗・スクールカラーについて)

第9回新校設立準備実務作業部会

- 期 日 令和2(2020)年9月17日(木)
場 所 足利高校 崖響ホール
議 事 1 教育目標等について
2 特色ある教育活動について
3 目指す学校像について
4 令和4年度入学生教育課程案について
5 制服の進捗状況について
6 校歌・校章の進捗状況について
7 新校設置計画について
8 その他(令和3年度入学生修学旅行について)

第10回新校設立準備実務作業部会

- 期 日 令和2(2020)年12月8日(火)
場 所 足利女子高校 会議室
議 事 1 教育課程編成の基本方針について
2 令和4年度入学生教育課程案について
3 目指す学校像について
4 特色ある教育活動について
5 校章選定のスケジュールについて
6 令和2、3、4年度入学生「総合的な探究の時間」に係る計画案について
7 スクールカラーの方針決定について

第11回新校設立準備実務作業部会

- 期 日 令和3(2021)年1月14日(木)
場 所 足利女子高校 会議室
議 事 1 新校の校章候補について
2 新校の設置部活動について
3 新校設置計画について
4 新校の制服について

資料7

足利高等学校 令和4(2022)年度入学生教育課程表

※は学校設定科目、*は専門科目を表す。

教科	科目	標準単位	1年次	2年次			3年次			合計単位	
			共通	文理共通	文型	理型	文理共通	文型	理型		
共通教科	国語	現代の国語	2	2						2	
		言語文化	2	3						3	
		論理国語	4		2			2		4	
		古典探究	4		3					3	
		文学国語	4			2			2	0.4	
		※古典研究	—						2A	2A	0.2
		※表現研究	—						2D	2D	0.2
		※近現代文学特講	—						2E	2E	0.2
		※中古文学特講	—						2B		0.2
	地理歴史	地理総合	2		2					2	
		地理探究	3					5BC	4△▲	0.4, 5	
		歴史総合	2	2						2	
		世界史探究	3			4◇			2◇	0.6	
		日本史探究	3			4◇			2◇ 5BC	0.5, 6	
		※世界史特講	—						3◆	0.3	
	公民	※日本史特講	—						3◆	0.3	
		公共	2		2					2	
		倫理	2						2B	2△	0.2
		政治・経済	2						3C	2▲	0.2, 3
	数学	※社会学概論	—						2D	2D	0.2
		数学Ⅰ	3	3						3	
		数学Ⅱ	4	1		5	4			5.6	
		数学Ⅲ	3				1□			4□	0.5
		数学A	2	2						2	
		数学B	2		2					2	
		数学C	2							3■	0.3
※数学特講α		—				1□			4□	0.5	
※数学特講β		—							3■	0.3	
※数学研究	—						5○●		0.5		
理科	物理基礎	2	2							2	
	物理	4				3◆			3◆ 5◆	0.6, 8	
	化学基礎	2			2■	2				0.2	
	化学	4				3			3 5	0.6, 8	
	生物基礎	2	2							2	
	生物	4				3◆			3◆ 5◆	0.6, 8	
	地学基礎	2			2■					0.2	
	※化学基礎研究	—						2D	2D	0.2	
	※生物基礎研究	—						2E	2E	0.2	
※地学基礎研究	—						2D	2D	0.2		
保健体育	体育	7~8	3	2				2		7	
	保健	2	1	1						2	
芸術	音楽Ⅰ	2	2◇							0.2	
	美術Ⅰ	2	2◇							0.2	
	書道Ⅰ	2	2◇							0.2	
	※応用の書	—						2A	2A	0.2	
	※書と文化	—						3C		0.3	
	※実用の書	—						2E	2E	0.2	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	4							4	
	英語コミュニケーションⅡ	4		4						4	
	英語コミュニケーションⅢ	4					4			4	
	論理・表現Ⅰ	2	2							2	
	論理・表現Ⅱ	2		2						2	
	論理・表現Ⅲ	2					2			2	
	※科学英語	—						2A	2A	0.2	
	※時事英語	—						3○		0.3	
	※応用ライティング	—						2●		0.2	
	※文法・語法活用研究	—						2B		0.2	
	※応用リーディング	—						3C		0.3	
	※英語構文活用研究	—						2D	2D	0.2	
※Presentation	—						2E	2E	0.2		
家庭	家庭基礎	2	2							2	
情報	情報Ⅰ	2	2							2	
	情報Ⅱ	2						2A	2A	0.2	
理数	理数探究	2~5							4△▲	0.4	

専門 教科	家庭	* 保育基礎	2～8					2D	2D	0.2
		* フードデザイン	2～8					2●		0.2
	情報	* 情報の表現と管理	2～4					2●		0.2
		* スポーツⅡ	2～13					2E	2E	0.2
	体育	* スポーツⅢ	2～13					2D	2D	0.2
		* スポーツⅣ	2～13					2D	2D	0.2
		* 音楽理論	2～6					2A	2A	0.2
	音楽	* 演奏研究	2～4					3C		0.3
		* 器楽	2～8					2D	2D	0.2
		* ソルフェージュ	2～6					2E	2E	0.2
		* 素描	2～6					2A	2A	0.2
	美術	* 絵画	2～6					3C		0.3
		* 構成	2～4					2D	2D	0.2
		* クラフトデザイン	2～6					2E	2E	0.2
		総合的な探究の時間	3～6	1	1			1		3
	LHR			1	1			1		3
合計			35		35		35		105	
備考	<p>◆◇■□○●▲ABCDEは同一記号から1科目(1組)選択する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年次で、「数学Ⅰ」と「数学Ⅱ」の履修の順序は、「数学Ⅰ」を履修した後に「数学Ⅱ」を履修する。 ・2年次文型で、◇「世界史探究」と◇「日本史探究」の選択は、3年次も継続して履修する。 ・2年次理型で、□「数学Ⅲ」と□「数学特講α」の選択は、3年次も継続して履修する。 ・2年次理型で、「数学Ⅱ」と「数学Ⅲ」の履修順序は、「数学Ⅱ」を履修した後に「数学Ⅲ」を履修する。 ・2年次理型で、◆「物理」と◆「生物」の選択は、3年次も継続して履修する。 ・2年次理型で、「化学基礎」と「化学」の履修の順序は、「化学基礎」を履修した後に「化学」を履修する。 ・3年次文型で、◇「世界史探究」を履修する場合は◆「世界史特講」を、◇「日本史探究」を履修する場合は◆「日本史特講」を必ず履修する。 ・3年次文型で、BC「日本史探究」を履修できるものは、2年次に◇「日本史探究」を履修していない場合に限る。 ・3年次文型で、BC「日本史探究」またはBC「地理探究」を選択する場合は、B及びCの付された科目を履修することはできない。 ・3年次文型で、○●「数学研究」を選択するものは、○及び●の付された科目を履修することはできない。 ・3年次理型で、△▲「地理探究」または△▲「理数探究」を選択する場合は、△「倫理」及び▲「政治経済」を履修することはできない。 ・3年次理型で、□「数学Ⅲ」を履修する場合は■「数学C」を、□「数学特講α」を履修する場合は■「数学特講β」を必ず履修する。 ・履修に当たっては別に定める帯表を参照する。 ・履修の仕方や開講人数の定め及び単位の認定・卒業の認定の詳細については別に定める規定に基づく。 ・この「教育課程」は予定であり、諸般の事情で変更することがある。 									

足利高等学校 令和4(2022)年度入学生教育課程帯表

※は学校設定教科目 *は専門科目 ()は単位数 網掛けは選択科目

単位	1年次	2年次		3年次					
		文型	理型	文型		理型			
1	現代の国語(2)	論理国語(2)		論理国語(2)[継続履修]					
2									
3	言語文化(3)	古典探究(3)		英語コミュニケーションⅢ(4)					
4									
5									
6	歴史総合(2)	地理総合(2)		論理・表現Ⅲ(2)					
7									
8	数学Ⅰ(3)	公共(2)		体育(2)					
9									
10	数学A(2)	英語コミュニケーションⅡ(4)		選択A(2)					
11									
12									
13									
14	物理基礎(2)	論理・表現Ⅱ(2)		文学国語(2)[継続履修]		理数探究(4)	倫理(2)	地理探究(4)	
15							政治経済(2)		
16	生物基礎(2)	体育(2)		世界史探究(2)[継続履修] 日本史探究(2)[継続履修]		数学Ⅲ(4) [継続履修]	※数学特講α(4) [継続履修]		
17									
18	英語コミュニケーションⅠ(4)	保健(1)		※世界史特講(3) ※日本史特講(3)		※数学特講β(3)		数学Ⅳ(4) [継続履修]	
19		数学B(2)							
20									
21		※時事英語(3)							
22	※数学研究(5)								
23			※数学Ⅱ(4)		※数学特講β(3)		数学C(3)		
24	※数学Ⅱ(5)								
25			体育(3)	※数学特講α(1)	数学Ⅲ(1)	選択B(2)		物理(3) [継続履修] 生物(3) [継続履修]	物理(5)[継続履修] 生物(5)[継続履修]
26	化学基礎(2) 地学基礎(2)	化学基礎(2)		地理探究(5) 日本史探究(5)					
27	保健(1)	世界史探究(4) 日本史探究(4)		化学(3)		選択D(2)		化学(5)[継続履修]	
28	家庭基礎(2)								
29	情報Ⅰ(2)	世界史探究(4) 日本史探究(4)		化学(3)		選択D(2)		化学(3) [継続履修]	
30									
31	音楽Ⅰ(2) 美術Ⅰ(2) 書道Ⅰ(2)	文学国語(2)		物理(3) 生物(3)		選択E(2)			
32									
33									
34	総合的な探究の時間(1)	総合的な探究の時間(1)		総合的な探究の時間(1)					
35	LHR	LHR		LHR					

選択A	※古典研究(2) 情報Ⅱ(2) ※科学英語(2) *音楽理論(2) *素描(2) ※応用の書(2)	選択B	※中古文学特講(2) 倫理(2) ※文法・語法活用研究(2)	選択C	政治経済(3) ※応用リーディング(3) *演奏研究(3) *絵画(3) ※書と文化(3)
選択D	※表現研究(2) ※社会学概論(2) ※化学基礎研究(2) ※地学基礎研究(2) ※英語構文活用研究(2) *スポーツⅢ(2) *スポーツⅣ(2) *保育基礎(2) *器楽(2) *構成(2)				
選択E	※近現代文学特講(2) ※生物基礎研究(2) ※Presentation(2) *スポーツⅡ(2) *ソルフェージュ(2) *クラフトデザイン(2) ※実用の書(2)				

資料 8

足利高等学校 校歌・校章制作者略歴

1 校 歌

作 詞 者 売野 雅勇 氏

作詞家。栃木県立足利高等学校卒業。上智大学文学部英文
学科卒業。中森明菜、チェッカーズ他ヒット曲多数。

作 曲 者 林 哲司 氏

作曲家。静岡県立富士高等学校卒業。竹内まりや、上田正
樹、杏里他ヒット曲多数。

2 校 章

制 作 者 有坂 隆二 氏

造形作家。栃木県立高等学校元教諭。栃木県立栃木高等学
校卒業。東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業。リ
キテックスビエンナーレ入選。「宇都宮美術の現在展」「千
年の扉ー県内美術の現在ー展」「和解と和合の日・韓展」
他出品。